

令和6年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会 会議録

日 時：令和6年6月14日（金）14時～15時30分

会 場：瑞浪市役所4階 会議室

出席者 <協議会委員> 吉田 英一（学識経験を有するもの）
松岡 敬二（学識経験を有するもの）
西尾 京子（家庭教育の向上に資する活動を行うもの）
加納 礼爾（学校教育関係者）
<事務局> 水野 光二（市長）・水野 義康（館長）・安藤 佑介
欠席者 <協議会委員> 中山 京三（社会教育関係者）

1 委嘱状交付

市長より委員に委嘱状を交付。

2 あいさつ

市長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

3 協議会会長選出

加納委員が協議会会長に選出された。

4 報告事項

令和5年度事業報告について

1）普及活動の充実

・⑤出前授業・講演会・化石資料貸出の実施について

委 員：瑞浪産パレオパラドキシアを大いに活用し、化石の魅力を市内の方に伝えるため学校教育だけでなく講演会なども積極的に行ってほしい。

事務局：昨年度はパレオパラドキシアのガイドブックを制作し、配布した。また出前講座では市民講演会や学校で化石の授業や講演を行った。今後も継続して事業を行いたい。

委 員：学校から化石博物館までが遠いと来館する機会を作るのが難しい。化石博物館でバスを用意してはどうか。

事務局：市内学校は社会科見学やふるさと学習の時にバスを使って市内の施設を見学するため、学校の先生に化石博物館をコースに入れてもらえるように働きかけたい。

委 員：学芸員の数に対して事業数が多いと思う。今後は講座の開催数や内容を整理したほうが良いと思う。また、ボランティアや友の会の協力はあるのか。

事務局：講座の内容や種類については毎年内容を検討し、実施しなくなったものもある。今後も定期的に内容を検討したいが、現在行っている講座は人気のある内容のものばかりである。8月以外の毎月開催しているみずなみ化石教室については、友の会の方の協力を得て開催している。

2) 資料の充実と調査・研究

・①パレオパラドキシアのクリーニングと調査

委員：パレオパラドキシアに関する大規模な事業を行った割には来館者数に直結していない。原因は何か。

事務局：来館者数の減少は事業の内容よりも少子化などの他の影響の方が多いいと考えている。

委員：今後は、来館者数だけでなく、アンケートによる満足度など色々な実績を評価の指標とした方が良い。

事務局：検討したい。

5 協議事項

令和6年度事業について

1) 普及活動の充実

・②講座等の開催

委員：大型のイベントが秋にあるため、準備に関する時間を作るためにも夏の講座を減らすことはできなかったのか。

事務局：夏休みは来館者数が多いため実施する講座数も多いが、毎年行っている内容のものが多いため、ご指摘ほど大変な状況ではない。

④出前授業・化石資料貸出の実施

委員：出前授業を行った後子どもたちが化石博物館に来館してもらえるような仕組みを作してほしい。

事務局：市内の学校の多くは化石博物館へ来館されるが展示解説や化石採集だと解説メインになり考えてもらったり、より詳しいことを話す時間が少ない。出前授業の目的は、より詳しくふるさとの自然について知ってもらうことであると考えているため、来館対応と出前授業は分けて考えたい。

5) 国民文化祭について

委員：今年は瑞浪市制70周年のはずだが、市制70周年記念事業ではないのか。

事務局：市制70周年記念事業の一つとして位置付けている。

委員：市長が挨拶で化石フェスタと展示改修のことをPRしていた。大い

に盛り上げてほしいということだと思う。目標としている指標はあるか。

事務局 参加者５００人を目標としている。

委 員 内容としては専門的なものになっている。目標を達成するためには来場者へノベルティグッズの配布などの仕掛けが必要ではないか。

事務局：開催のための予算は決まっているため、残額を見ながらできるだけ来場される方に楽しんでもらえるような工夫をしたい。

委 員：化石フェスタへの来場だけでなく、化石博物館への来館も促していただきたい。開催期間中無料開放してはどうか。また、化石博物館と文化センターをつなぐバスなどを検討されてはいかがか。

事務局：化石博物館へも足を運んでもらえるように無料開放など前向きに検討したい。

6 報告事項

文化施設再編について

委 員：３つの施設を統合すると規模はどうなるのか。

事務局：従来の各館の面積をあわせたものの７割程度になると思われる。

委 員：展示も重要だが収蔵スペースを確保しなければならない。

事務局：ご指摘も踏まえて今後検討し、基本構想を作成したい。